

平成25年度 エコポリス板橋環境活動大賞(IEAA)表彰式



【最優秀賞】

該当者なし

【優秀賞】

- ・ 花水木の会 [地域環境アクション部門]

【奨励賞】

- ・ 帝京中学・高等学校 [地域環境アクション部門]
- ・ 寺内 あさ [地域環境アクション部門]
- ・ 大東文化大学法学部政治学科中村昭雄ゼミナール

[環境教育部門]

平成25年度エコポリス板橋環境活動大賞 表彰者概要

① 花水木の会

【表彰内容】

地域環境アクション部門・優秀賞

【活動名・キャッチフレーズ】

大気汚染の名所に憩いのオアシスを

【活動内容】

平成17年より、都営地下鉄「板橋本町駅」の出口に隣接する一角が「YUMEパーク大和町」として整備された。町内に公園のない大和町会では、初めてできた公園を大切にしていこうと、町会役員が中心となって「花水木の会」を設立し、毎週水曜日7時から1時間程度公園内のごみ拾い、雑草とり、散水（夏期は毎日）、シンボルツリー下の植栽の植え替え、植木の刈り込み等を行っている。

今後もまちのオアシスとして愛されるきれいな公園を目指して地道に活動を継続したいと考えている。

【特色】

- ・町会を4つの区域に分け、4班体制で活動を行っている。4名の班長と会長は3か月に1回会合を開き、気付いたことや問題点を話し合い、班員に伝達をしている。
- ・活動は町会役員が中心だが、役員以外も参加しており町会とは別組織となっている。
- ・町会、老人クラブとも連携して活動をしている。
- ・大和町会役員は公園の企画の段階から参加しており、空気をきれいにするという目的で設計されている公園デザインを壊さないように手入れを続けている。

【審査会による評価】

本年度の地域環境アクション部門には6件の応募があったが、審査員4名全員がこの団体の活動を最も高く評価し、地域環境アクション部門の優秀賞に選出した。

継続性や、組織だった活動体制において高い評価を得ている。今後の活動にも大いに期待できることから、優秀賞に該当すると判断した。

② 帝京中学・高等学校

【表彰内容】

地域環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

高校生徒による早期清掃活動

【活動内容】

昭和40年頃から、清掃を行うことの清々しさを生徒に体感してもらうこと及び清掃活動をすることによって少しでも地域に貢献をするため、学校の休みでない日は毎日行っている。主な活動内容は以下のとおり。

- ・時間：午前7時40分～午前8時30分

出校日は毎日行う（年間約250日位）

- ・活動生徒：高校2年生全員で、1日4～5名ずつの輪番制

生徒はごみ袋とトングを持ち、学校周辺の路上にごみを集めるものである。不燃ごみ、可燃ごみに分別して集め、終了後は校内のごみ保管庫に納め、学校ごみとして処分している。

今後この活動を継続させ、朝のみでなく地域の活動に生徒たちも何らかの方法で参加したいと考えている。

【審査員による評価】

高校2年生全員が地域に貢献するため美化活動を行っている点、また活動の頻度・継続性の面でも評価された。

③ 寺内 あさ

【表彰内容】

地域環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

まちをきれいに

【活動内容】

平成元年頃よりきれいなまちを歩きたいという思いから、毎朝2時間から3時間程度近所の草取りやごみ拾いをしている。推薦者が近所を散歩しているときに毎朝寺内さんを見かけるようになり知り合いになった。

清掃をしているとき、きれいになったまちを見るのはとても楽しいので続けていきたいと考えている。

【審査員による評価】

平成元年より毎朝の清掃活動をおこなっており、活動の頻度・継続性が評価された。

④ 大東文化大学法学部政治学科中村昭雄ゼミナール

【表彰内容】

環境教育部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

都市鉱山（レアメタルの回収）

【活動内容】

家庭に眠っている使用済み小型家電を回収し、希少金属の有効活用を促進すること及び使用済み小型家電の回収を産・学・公・民一体となって取り組むモデルを構築し、全国の大学や自治体に情報発信をするため活動している。主な活動内容は以下のとおり。今後も大学内に回収ボックスを設置し、継続して活動を行っていく。

- ・板橋区が主催する「区民まつり」や「農業まつり」などにボランティアとして参加し、区と一緒に使用済み小型家電の回収作業を行う。

- ・自校の文化祭で小型家電の回収ボックスを設置し、回収を行う。また、都市鉱山（レアメタル）についてのシンポジウムを行う。

【審査員による評価】

今年度より新しく始まった取り組みではあるが、学生の意欲の高さ、今後の展望に期待できる内容であることが評価された。